

件 名 武器見本市「D S E I J a p a n 2027」への幕張メッセ貸し出しの中止を求めることについて

要 旨

幕張メッセでは、これまで複数回、武器見本市が開催されてきた。2025年には、武力紛争に関与する国々の軍需企業が出展し、実戦で使用する兵器も展示された。一部の議員やメディアが入場できず、抗議する市民が撮影されたとの報告もあり、知る権利、表現の自由及び個人の尊厳の観点から看過できない。武器取引を促す催事に公の施設を提供することは、武器の拡散と軍拡を後押しし、世界の緊張を高めるおそれがある。「だれの子どももころさせない」という私たちの願いは、国や立場を超えて共有されるべきものである。

日本国憲法前文は「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」としている。人の命を奪う武器を商取引の対象とする見本市は、この理念に反する。奪われる一つひとつの命には、家族とかけがえのない日常がある。公の施設である幕張メッセは、経済的利益だけでなく、人命、人権、平和及び公共性を重視して利用の可否を判断すべきである。千葉県議会は1994年に非核平和千葉県宣言を決議し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和をめざすと宣言している。この理念を具体的な行動につなげるため、「幕張メッセでの武器見本市に反対する会」と共に、千葉県議会が、県有施設を武器取引の場としないよう明確な意思を示すことを求める。

以上の趣旨から、次項のとおり措置願いたい。

1. 幕張メッセの武器見本市「D S E I J a p a n 2027」への使用決定を撤回すること。
2. 少なくとも国際法違反のイスラエル及び米国の軍需企業を参加させないよう主催者に要請すること。
3. すべての議員及びメディアの入場を認めるよう主催者に要請すること。
4. 抗議者の撮影など、市民の正当な抗議活動を萎縮させる行為を行わないよう、株式会社幕張メッセに要請すること。